

## 報告内容

■対象期間：2026年1月～2026年3月

■退棟患者数：55名

■リハビリテーションを要する状態の内訳

1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	21名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	26名
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	5名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷の状態	2名
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	1名
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名

■リハビリテーション効果における実績指数：(44.81)

(実績指数とは…回復期リハビリテーション病棟に入院してから退院するまでのリハビリテーションにより症状の改善度を数値化したもの)

2026年4月